



め ず ら 梅 豆 羅



令和8年9月2日
浜玉中学校通信 No.11
校長 吉村 典浩

《学校教育目標》「好き」を育て、「良さ」を伸ばす
《目指す生徒像》新たな時代を切り開く生徒の育成

二十四節季という暦(こよみ)の上では、今は処暑(しよしよ)であり、暑さがおさまる頃とされています。しかし、まだ日中は30℃を軽く超えてしまう暑さが続いています。熱中症への注意はまだ気が抜けません。

始業式の校長講話

1学期の終業式で、「(誰一人欠けることなく)浜玉中の全員がみんなそろって再会します。」という約束をしました。夏休みの間に大きな事故やケガに関する連絡はありませんでした。約束通り、全員が無事に2学期を迎えたことをたいへん嬉しく思っています。

浜玉中の生徒の皆さんはだれしも、好きな(得意な)教科もあれば、嫌いな(苦手な)教科もあるでしょう。勉強の話だけでなく、例えば人と話をすることが好き(得意)な人もいれば、どちらかといえば好きではない(苦手)と感じている人もいるでしょう。今、少しずつ大人になってきている生徒のみなさんは、遠からず仕事を選んだり、生き方を選んだりして、世の中を支える人となり、自分で自立して生活できる人になっていくでしょう。その時に、何を選び取って生きていくのでしょうか？きっと人は、「好きなこと」「興味があること」「得意なこと」「自分の良さを生かせること」を選んで人生を歩もうとします。2学期は「好きなこと」「興味があること」「得意なこと」「自分の良さを生かせること」できるだけたくさん見つけてください。見つけたら、深めてください、伸ばしてください。

浜玉中学校の学校教育目標 「好き」を育て 「良さ」を伸ばす の実現に近づく2学期にしてください。

2学期の浜玉中学校では、教科の学習がさらに深く、高度になります。職場体験(2年生)、バス研修(1・2年生)、修学旅行(3年生)、文化発表会、生徒会選挙→新生徒会へ、ボランティア活動、新人戦(1・2年生)、志望校決定(3年生)など・・・多くのことに取り組んでいきます。

2学期も浜玉中生の活躍を楽しみにしています。チャレンジする2学期にしましょう。

生徒会の募金活動

夏休みの間に熊本県で大きな地震が起こりました。地震のほかにも千葉県や福井県で大雨による水害も起こりました。幸い今年の唐津地区では自然災害にあうことなく過ごすことができます。しかし、3年前にここ浜玉町平原でも予期せず土砂災害が起こりました。これからも油断なく過ごしていくことは大切なことだと思います。

一方、災害が起こった熊本には多くのボランティアの方が現地入りしたり、自衛隊員や消防署員、市役所の職員が派遣されたりしてお手伝いをされています。中学生に何ができるか、それぞれの置かれた立場や状況で、できる支援をしていく必要があると思います。

8月30日にまいづるキャロット浜玉店の入り口をお借りして、本校の生徒会役員が募金活動を行いました。例年行っている 24 時間テレビの活動に協力してのチャリティー募金と併せて、熊本の震災復興のための募金活動を行いました。買い物に来ていた地域の方に募金していただきました。



校内でも、熊本地震災害支援のための募金活動を行います。集まった募金は唐津地区の各中学校で集めた募金と合わせて、社会福祉協議会を通じて被災地に届きます。